

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【公開番号】特開2015-204978(P2015-204978A)

【公開日】平成27年11月19日(2015.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-072

【出願番号】特願2014-86631(P2014-86631)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月21日(2016.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め定められた取得条件が成立したことに基づいて、特別情報を取得する情報取得手段と、

当該情報取得手段の取得した特別情報を、複数の数として予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が、予め設定されている付与情報に対応しているか否かの付与判定を行うとともに、前記取得情報記憶手段に複数の特別情報が記憶されている場合にはそれら複数の特別情報に対して前記付与判定を順次行う付与判定手段と、

当該付与判定手段による付与判定の結果が、判定対象の特別情報が前記付与情報に対応しているとする付与対応結果となったことに基づいて、遊技者に対して特典を付与する特典付与手段と、

前記付与判定手段により前記付与判定が行われたことに基づいて遊技回用動作が開始され、前記付与判定手段の判定結果に対応した報知結果とし前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の1回として、前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報に応じて各遊技回の前記遊技回用動作が行われるように報知手段を制御する遊技回制御手段と、を備えた遊技機において、

前記情報取得手段により取得された所定の特別情報について当該所定の特別情報が前記付与判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、その特別情報が前記付与判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、

前記先特定手段による特定が行われた場合に、該先特定手段による特定結果に対応する対応情報が含まれる複数の示唆情報を設定する設定手段と、

前記先特定手段により特定対象となった前記所定の特別情報が前記付与判定の対象となるよりも前のタイミングを開始時点として前記設定手段により設定された前記複数の示唆情報の報知を予め定められた所定周期で変化させ、所定の終了タイミングにて前記変化を終了させる特別報知を、前記報知手段又はそれとは異なる報知手段において行わせる特別報知制御手段と、

前記特別報知を開始してから終了するまでの報知期間を算出する期間算出手段と、

を備え、

前記設定手段は、前記複数の示唆情報のうちの前記対応情報により前記特定結果の内容が示唆された状態で前記変化が終了されるように、前記所定周期と前記期間算出手段により算出された前記報知期間とに基づいて、前記特別報知の開始時に報知される前記示唆情報を設定することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記所定の終了タイミングは、前記特別報知の契機となった特別情報に係る遊技回よりも前に実行される遊技回における遊技回用動作が終了するタイミングに応じて設定されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技回制御手段は、前記遊技回用動作を開始してから当該遊技回用動作を終了するまでの動作期間を設定する動作期間設定手段を備え、当該動作期間設定手段により設定された動作期間に基づいて前記遊技回用動作を実行するものであり、

前記特別報知の開始タイミングにて実行中の実行遊技回に係る前記動作期間の残り期間を把握する把握手段と、

前記実行遊技回と前記所定の特別情報に対応する遊技回との間に実行される遊技回に関する前記動作期間の情報を、当該遊技回に対応する特別情報が前記付与判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先動作期間特定手段と、

を備え、

前記期間算出手段は、前記把握手段により把握された残り期間の情報と、前記先動作期間特定手段により特定された前記動作期間の情報と、に基づいて前記報知期間の算出を行うものであることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記特別報知制御手段は、前記複数の示唆情報を巡回変化させるものであり、

前記設定手段は、前記期間算出手段により算出された前記報知期間を前記複数の示唆情報の巡回周期で除算した剰余と、前記複数の示唆情報を変化させる前記所定周期と、に基づいて、前記特別報知の開始時に報知される前記複数の示唆情報とその報知順序を設定する構成であることを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記特別報知制御手段は、前記複数の示唆情報を巡回変化させるものであり、

前記動作期間設定手段により設定される動作期間は、当該設定される時点での遊技状況に応じて、前記先動作期間特定手段により特定された時点での動作期間と異なり得る構成であり、

これら動作期間の差が、前記示唆情報の巡回周期の自然数倍となるように設定されていることを特徴とする請求項 3 又は請求項 4 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記動作期間設定手段は、前記取得情報記憶手段に記憶されている前記特別情報の数に応じて異なる動作期間が定められている動作期間情報群に基づいて、前記動作期間を設定する記憶数対応期間設定手段を備え、

前記動作期間情報群には、前記取得情報記憶手段に記憶されている前記特別情報の数が第 1 個数の場合に設定される第 1 動作期間と、前記第 1 個数よりも多い第 2 個数の場合に設定され前記第 1 動作期間よりも短い第 2 動作期間と、が含まれてあり、

前記先動作期間特定手段により特定される動作期間と、前記第 1 動作期間及び前記第 2 動作期間との差が、前記示唆情報の巡回周期の自然数倍となるように設定されていることを特徴とする請求項 5 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記期間算出手段による算出結果が前記所定周期よりも短い場合には前記特別報知の実行を制限する制限手段を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 8】

前記報知手段は、絵柄を変動表示する絵柄表示手段であり、

前記遊技回制御手段は、前記遊技回用動作として、前記絵柄表示手段における複数の変動表示領域において前記絵柄の変動表示が開始された後前記付与判定の判定結果に対応した絵柄を停止表示させるものであり、

前記遊技回用動作には、前記絵柄の変動表示を開始してから前記複数の変動表示領域における前記絵柄を停止表示又は仮停止表示させる第1動作を行って当該遊技回用動作を終了する第1動作態様と、当該第1動作を行ってから、さらに前記絵柄の変動表示を行いその後当該絵柄を停止表示又は仮停止表示させる第2動作を行って当該遊技回用動作を終了する第2動作態様と、が含まれており、

当該第2動作態様における前記第2動作は、少なくとも前記所定期よりも長く行われるように設定されているものであることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1に記載の遊技機。

【請求項9】

前記付与判定手段による判定結果が前記付与対応結果である期待度が、前記第1動作態様よりも前記第2動作態様のほうが高くなるように設定されていることを特徴とする請求項8に記載の遊技機。